



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導法の工夫	校内における研究・研修の工夫	評価方法の工夫	家庭や地域との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<p>◇各教科の学習の中で、自分の考えを互いに交流させることによって、さらに考えを広げ深める</p> <p>◇習熟に応じた指導や補充的な学習・発展的な学習を取り入れ、個に応じた指導の一層の充実を図る。</p> <p>◇地域の特性を生かした取り組みや、SDGsを意識した体験活動を充実させる。</p>	<p>◇年間指導計画・評価規準を見直し、授業における指導と評価の一体化を図る。</p> <p>◇2年生以上では、習熟度別算数指導を実施し、東京ベースック・ドリルを活用するなど、個に応じた指導を実践する。</p> <p>◇モジュール授業を活用して、国語における基礎的な学習内容の確実な定着を図る。</p> <p>◇学力調査の検証を全体で共有し、授業改善プランに基づく指導内容の充実を図る。</p>	<p>◇研究主題「自他のよさを認め合い、深く考え、行動できる児童の育成～様々な人々との関わりを通じて～」を基に、課題解決に向けて深く考え、主体的に行動できる児童の育成を図る。</p> <p>◇地域の人材と環境を生かした3つの柱「学習連携」「安全連携」「行事連携」を推進する。</p> <p>◇教職員による特別支援教育の研修やICT研修、特活研修を定期的に行い、授業力の向上を図る。</p>	<p>◇指導と評価の一体化により、PDCAサイクルの充実を図り、授業改善、学習改善につなげる。</p> <p>◇各教科では、授業ごとに評価すべき観点を整理し、評価計画に基づき、適切な評価をする。</p> <p>◇児童の学習意欲の向上を図るために、自己評価や相互評価を積極的に取り入れる。</p>	<p>◇教育活動の様子や児童の変容等を保護者会や学校だより、ホームページ等を通して情報発信する。</p> <p>◇地域環境の特徴を踏まえ、公共施設や地域人材を活用した授業づくりの充実を図る。</p> <p>◇保護者、地域、学校評議員による外部評価を実施し、教育課程編成へ生かす。</p> <p>◇道徳授業地区公開講座も含め、学校公開日を年複数回設定し、保護者や地域に公開する。</p>	<p>◇校区別協議会において、「目指す15歳の姿」を明らかにした上で、小学校と中学校の交流と相互理解の充実を図る。</p> <p>◇「交流」「学力向上」「心の教育・不登校対策」「体育・健康」の4つの部会で連携を深める。</p> <p>◇授業体験や部活動見学、児童・生徒交流などを実施し、豊かな心の育成と中学校へのスムーズな接続を目指す。</p>

令和6年度 授業改善推進プラン<学年別>

学校名

練馬区立立野小学校

1年	課題分析	授業改善策
<p style="text-align: center;">国 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拗音・長音・促音・濁音・半濁音を文字に表すと、文字を間違えてしまう児童がいる。</li> <li>・文を書くときに、「は」「を」「へ」を「わ」「お」「え」と間違えてしまう児童がいる。</li> <li>・自分の言いたいことを話すことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士で書いた文を読み合っ互いのよさを伝え合ったり、修正したりする機会を増やしていく。</li> <li>・モジュールの時間を活用し、拗音・長音・促音・濁音・半濁音や「は」「を」「へ」を使った文を書く機会を増やし、正しく書けるようにする。</li> <li>・モジュールの時間を活用し、「話す・聞く」の学習の定着を図る。</li> </ul>

授業改善推進プラン<学年別>

学校名 練馬区立立野小学校

2年	課題分析	授業改善策
生活科	<p>・好奇心は強いが、気付いたことを言語化したり、表現したりする力が弱い。 (表現方法の乏しさ)</p>	<p>・今後の単元において、気付いたことをまとめる表現方法を幾つか提示し、経験させる(ペープサート・ポスター・新聞・タブレットなど)。</p> <p>・気付いたことを言語化する機会を増やす。個の特性に応じたワークシートを作成する。言語化が難しい児童には、選択式にしたり、穴埋め式にしたりする。</p> <p>・文字数を一文で表す練習を繰り返す。</p>

授業改善推進プラン<学年別>

学校名 練馬区立立野小学校

3年	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力が乏しく、自分の考えを書き表したり、伝えあったりすることが苦手な児童がいる。</li> <li>・話し合い活動に苦手意識をもっている児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力を高めるため、気持ちや様子を表す言葉カードを作成し、活用させる。</li> <li>・意図的にグループを分けたり、自分の考えを付箋やワークシートに書いてから話し合いを行ったりする。また、グループでの話し合いの機会を多く設ける。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と関わる体験が少なく、興味が薄い児童もいる。</li> <li>・調べた情報から深く考えたり、まとめたりする力が十分に身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の商店や公共施設などに見学をしたり働いている人にインタビューをしたりする活動を多く取り入れる。</li> <li>・調べ学習をさせる際には、ワークシートを活用し、視点を与えることで、課題解決に必要な情報を取捨選択したり整理したりできるようにする。また、自分の考えを付箋やワークシートに書かせてからグループで話し合わせることで、多様な意見や考えに触れさせ、考えを深められるようにする。</li> </ul>

授業改善推進プラン<学年別>

学校名

練馬区立立野小学校

4年	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の定着が不十分である。</li> <li>・話し合いの方法が定着していない。</li> <li>・相手意識をもって発表する経験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストを実施し、間違えたものを直させる。</li> <li>・国語辞典を用いながら文章を書くことを身に付けさせる。</li> <li>・話し合い活動の活性化のために話型を示したり、可視化ツールを利用したりする。</li> <li>・朝のスピーチ等で発表する経験を積ませる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の基礎・基本の定着が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最初に計算プリントに取り組み、基礎・基本を身に付けさせる。</li> <li>・プリントやタブレットを用いて習熟度別に対応する。</li> </ul>

授業改善推進プラン<学年別>

学校名 練馬区立立野小学校

5年	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習漢字の定着が不十分である。</li> <li>順序立てて書く・話す力を育てていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テストに定期的に取り組ませ、直しに取り組ませることで苦手・未習熟な漢字の自己分析を行わせる。</li> <li>書く・話す活動を通して順序立てるための接続語や文章構成を重点的に指導する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算(特に小数の計算やわり算)の正しい計算の定着が不十分である。</li> <li>考え方を伝えることに対して苦手意識が強い児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の導入で復習の計算プリントに取り組ませ、基礎基本を定着させる。</li> <li>ペアやグループで話し合う活動を設定し、伝える活動自体に慣れさせるとともに、児童の実態に合わせて声掛けを行い、児童が少しずつでも考え方を自分の言葉で伝えられるようにしていく。また、説明する際に使用するキーワードを提示する。</li> </ul>
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習意欲は高いが、学習したことを知識として活動に生かすことができていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただ活動を行うだけでなく、「どうしてそのようにする必要があるのか」ということを活動の前に考えさせたり、丁寧に説明して理解させたりする。知識の定着を図った後、復習しながら活動に臨めるようにする。</li> </ul>

授業改善推進プラン<学年別>

学校名 練馬区立立野小学校

6年	課題分析	授業改善策
<p style="text-align: center;">体 育</p>	<p>・学習カード(思考力・判断力・表現力)での学習感想や気付きの表現が浅く、ポイントを捉えられている児童が少ない。</p>	<p>・その授業のめあてを明確に示すとともに、個人の課題やグループの課題を明確にした上で、45分の学習に臨むことができるようにする。 ・少人数の交流を取り入れながら学習のまとめをすることで、表現が苦手な児童も自信をもって振り返りをできるようにする。</p>